

緊急地震速報を知っていますか？

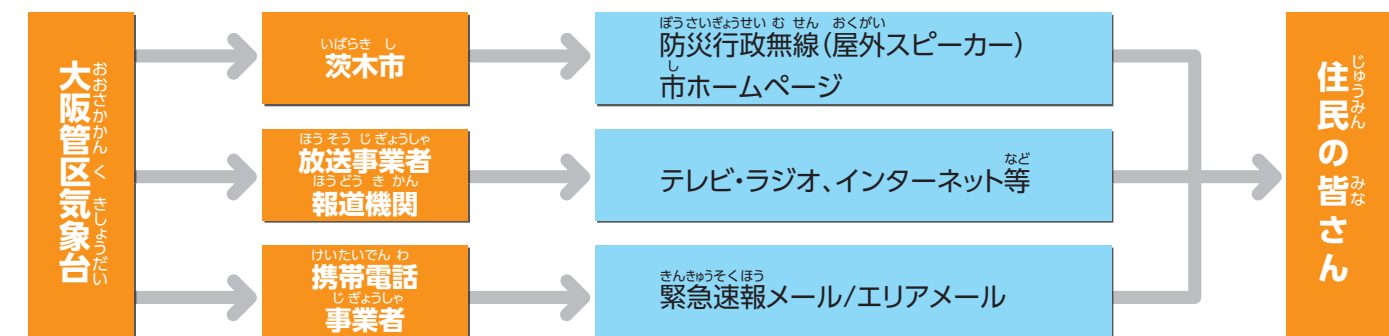
緊急地震速報は、地震の発生直後に各地での震度や到達時刻などを予想し、可能な限りすばやく知らせる情報です。緊急地震速報の発表から強い揺れの到達まではわずか数秒～数十秒しかありませんが、緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動をとり、揺れが収まるまで身を守る行動を続けましょう。



◆室内では	頭を保護し、大きな家具から離れ、机の下などに隠れる。慌てて外へ飛び出さない。
◆室外では	ブロック塀、自動販売機、ビルの壁などから離れる。落石やがけ崩れに注意する。
◆自動車の運転中	急ブレーキ、急ハンドルをさけて、ハザードランプを点灯して緩やかに停止する。

情報伝達の経路

緊急地震速報は、下図のような経路で住民の皆さんに伝達されます。



地震による火災を防ぐために

火災が発生した場合は消火器などを使い、初期消火に努めましょう。まず、周囲に「早く知らせ」、小さい火事のうちに「早く消し」、天井まで火が燃え広がったら「早く逃げましょう」。防災訓練などでは、消火器の使い方を練習しておきましょう。



(消火器がない場合の火元別初期消火方法)

油なべ 水をかけてはいけません。毛布や火きめのタオルをぬらして、火の手前からなべ全体にかぶせ、空気を遮断します。	石油ストーブ 上から一気に水をかけます。灯油がこぼれていたら毛布で覆ってから水をかけます。	衣類 転げまわって火を消します。髪の毛の場合は、頭からタオルなどの布をかぶります。
電気製品 感電しないように、コンセントを抜いてから消火します。	カーテン・ふすま 天井に火が燃え広がる前に、水で消します。また、カーテンは引きちぎり、ふすまは倒して消火します。	風呂場(ガス式) ガスの元栓を閉め、火の勢いが強くならないように扉を徐々に開けて消火します。

避難時の留意点

火の元確認

避難する前にもう一度、火の元を確認し、通電火災を防ぐためブレーカーを落としておきましょう



足もとに注意

電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。



階段から避難

避難時は、エレベーターを利用せず階段から避難しましょう。



安否情報を知らせる

玄関などに安否情報を記したメモを貼っておきましょう。



安全な服装

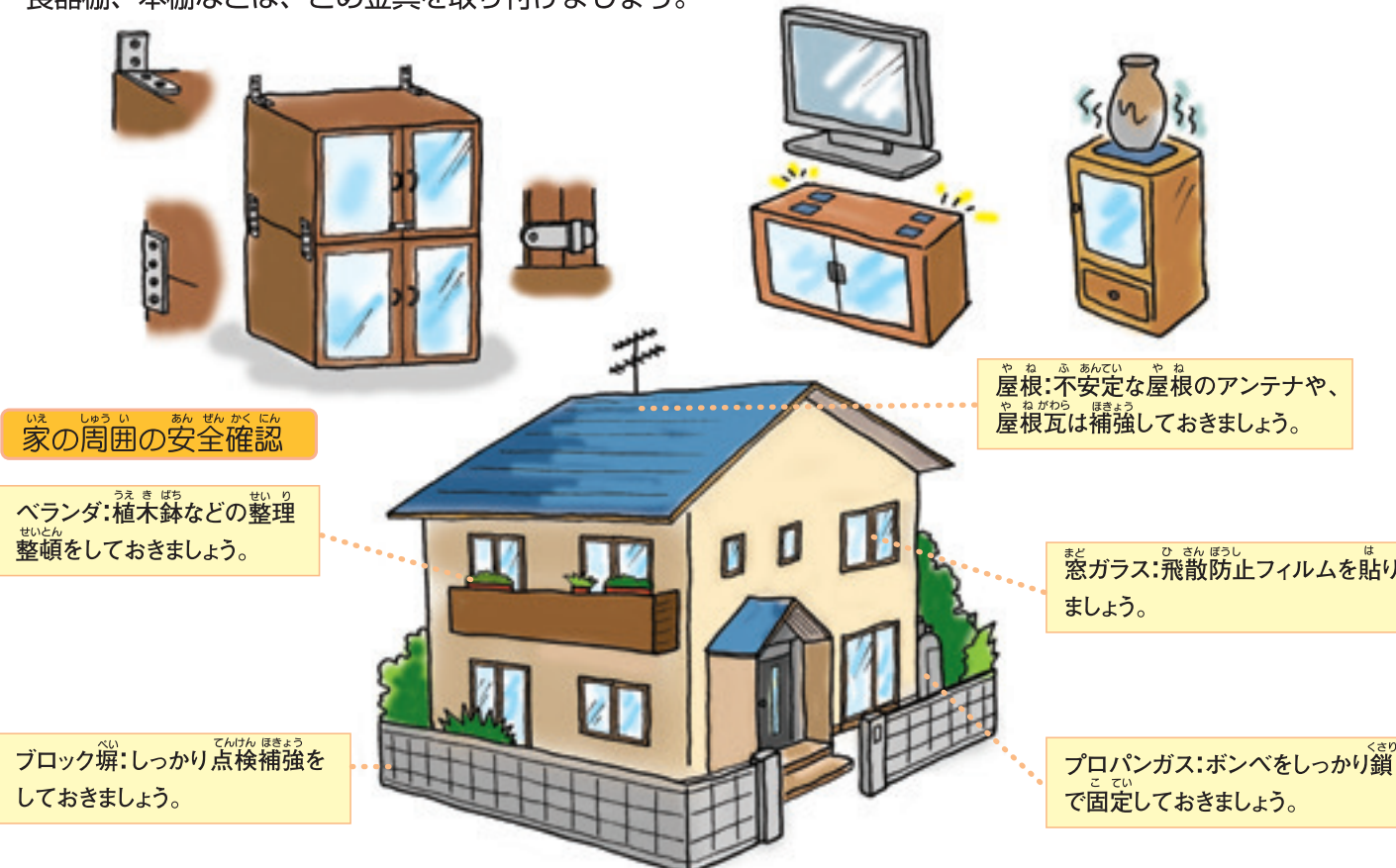
長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けましょう。



被害を防ぐポイント

家の中の安全確認

- 戸建住宅などの場合はできるだけ2階で寝るようにしましょう。
- 寝室には背の高い家具を置かないようにしましょう。
- 家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- 部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
- テレビや置物などには、粘着マット等を使い、転倒防止に努めましょう。
- 食器棚、本棚などは、とめ金具を取り付けましょう。



家の周囲の安全確認

ベランダ: 植木鉢などの整理整頓をしておきましょう。

屋根: 不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

窓ガラス: 飛散防止フィルムを貼りましょう。

ブロック塀: しっかり点検補強をしておきましょう。

プロパンガス: ボンベをしっかりと鎖で固定しておきましょう。